青森県経済統計報告

　　　令和元年９月３日

企画政策部統計分析課

１　青森県の推計人口（令和元年８月1日現在）……………………………………………………　 1

|  |
| --- |
| 県人口　1,247,658人（対前月682人減少）自然動態　　775人減少（出生者数　 643人、死亡者数　1,418人）社会動態 93人増加（転入者数 1,826人、転出者数 1,733人） |

２　本県の経済動向（令和元年6月・7月の経済指標を中心として）

（１）経済概況

|  |
| --- |
| 本県経済は、緩やかに回復している。 |

（２）主要経済指標の動向

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (2-1) | 生産動向 | ・令和元年6月の**青森県鉱工業生産指数**(平成22年＝100)は、季節調整済指数が 103.3 で、前月比10.1％の低下となり、3カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 104.0 で、前年同月比 8.9％の低下となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。 | … | 2 |
| (2-2) | 雇用労働 | ・令和元年6月の**定期給与**は220,941円で前年同月比1.3％増となった。**総実労働時間**は151.7時間で前年同月比4.7％減、**所定外労働時間**は8.9時間で前年同月比15.2％減となった。・令和元年7月の**有効求人倍率**（季節調整値）は1.20倍で、前月を0.01ポイント下回った。 | … | 3 |
| (2-3) | 物　　価 | 令和元年7月の**青森市消費者物価指数**（平成27年=100)は、総合指数が102.4となり、前月比0.1％の下落、前年同月比0.9％の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.3となり、前月比0.2％の上昇、前年同月比0.9％の上昇となった。 | … | 5 |
| (2-4) | 個人消費 | ・令和元年7月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが136億円で前年同月比4.0％減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.4％減となり、5カ月ぶりに前年同月を下回った。・令和元年7月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は4,439台で、前年同月比4.5％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。・令和元年7月の**観光入込客数**は、主な観光施設が883千人で前年同月比5.5％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は147千人で前年同月比0.5％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。 | … | 6 |
| (2-5) | 建　　設 | ・令和元年7月の**新設住宅着工戸数**は592戸で、前年同月比15.3％減となり、3カ月連続で前年同月を下回った。・令和元年7月の**公共工事請負額**は224億7,200万円で前年同月比1.3％増となり、5カ月連続で前年同月を上回った。 | … | 7 |
| (2-6) | 企業倒産 | 令和元年7月の**企業倒産**は、件数は14件で前年同月比250.0％増となった。負債総額は33億1,900万円で前年同月比988.2％増となった。 | … | 8 |

（３）景気動向指数ＣＩ（令和元年５月分）更新なし…………………………………………　 …　 　9

|  |
| --- |
| 先行指数　 113.9（前月を16.2ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月ぶりに下降した）一致指数　 138.8（前月を14.5ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月ぶりに下降した）遅行指数　 108.9（前月を1.4ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、2カ月ぶりに上昇した） |





**（２－２）雇用労働**

**（２－２－１）給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）**

　令和元年6月の定期給与は220,941円 で、定期給与指数（平成27年＝100）では102.3となり、前年同月比1.3％増と6カ月連続の増（現金給与総額333,254円、現金給与総額指数132.9、前年同月比0.0％）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.0となった。

　総実労働時間は151.7時間で、総実労働時間指数は98.1となり、前年同月比4.7％減と10カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は8.9時間で、所定外労働時間指数は77.4となり、前年同月比15.2％減と17カ月連続の減となった。





**（２－２－２）有効求人倍率**

令和元年７月の有効求人倍率（季節調整値）は1.20倍で、前月を0.01ポイント下回った。就業地別有効求人倍率は1.31倍で、前月を0.01ポイント下回った。



（参考）充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

　令和元年７月の充足率は21.5％で、前年同月を1.1ポイント上回った。



**（２－３）物価**

　令和元年7月の青森市消費者物価指数（平成27年=100)は、総合指数が102.4となり、前月と比べ0.1％の下落、前年同月と比べ0.9％の上昇となった。

　生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月と比べ0.1％の上昇、前年同月と比べ0.8％の上昇となった。

 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.3となり、前月と比べ0.2％の上昇、前年同月と比べ0.9％の上昇となった。

　総合指数が前月と比べ0.1％の下落となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮果物など）、光熱・水道（他の光熱など）などの下落が要因となっている。

　総合指数が前年同月と比べ0.9％の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮魚介など）、住居（家賃）などの上昇が要因となっている。





　※　**寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示した
 ものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比（％）

の値に一致する。

 前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された

指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

　本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

**（２－４）個人消費**

**（２－４－１）百貨店・スーパー販売額**

令和元年７月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが136億円で前年同月比4.0％減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.4％減となり、5カ月ぶりに前年同月を下回った。



　＊　大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メ－トル以上の商店をいう。

そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

**（２－４－２）乗用車新車登録・届出台数**

令和元年７月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,439台で、前年同月比4.5％増となり、２カ月ぶりに前年同月を上回った。普通乗用車及び小型乗用車が増加したことによる。



**（２－４－３）観光入込客数**

令和元年７月の観光入込客数は、主な観光施設が883千人で前年同月比5.5％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は147千人で前年同月比0.5％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。観光施設は青森市とむつ市等の施設で減少し、宿泊施設は弘前市、八戸市の施設で増加したことによる。

 

**（２－５）建　　設**

**（２－５－１）住宅建設**

　令和元年７月の新設住宅着工戸数は592戸で前年同月比15.3％減となり、3ヵ月連続で前年同月を下回った。主に貸家が減少したことによる。

**（２－５－２）公共事業**

令和元年７月の公共工事請負金額は224億7,200万円で前年同月比1.3％増となり、県などの増加により5カ月連続で前年同月を上回った。また、令和元年７月までの累計金額は918億3,200万円で前年同期比14.4％増となった。



**（２－６）企業倒産**

　令和元年７月の企業倒産は、件数は14件で前年同月比250.0％増となった。負債総額は33億1,900万円で前年同月比988.2％増となった。また、令和元年７月までの累計倒産件数は31件で前年同期比106.7％増、負債総額は48億200万円で前年同期比208.0％増となった。



**（３）青森県景気動向指数　更新なし**

　令和元年５月の青森県景気動向指数（ＣＩ）は、先行指数113.9、一致指数138.8、遅行指数108.9となった。

　先行指数は、前月を16.2 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月ぶりに下降した。

一致指数は、前月を14.5 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を1.4 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、２カ月ぶりに上昇した。

５月の一致指数は雇用、流通関連の指数がマイナスになったことから下降した。



